

表 英国議会主導によるブレグジット合意代替案の採決結果

動議	提出者	スタンス	内容	投票結果		備考	
				賛成	反対		
1	バロン保守党議員ほか同党議員	強硬離脱	4月12日にノー・ディールで離脱。	否決	160	400	ノー・ディールは3月13日にも否決されている。
2	ポールズ保守党議員ほか超党派	穏健離脱	欧州自由貿易連合（EFTA）への再加盟により欧州経済領域（EEA）の単一市場に参加するとともに、バックストップの代替措置導入までは一時的に関税同盟にも参加。	否決	189	283	通称「共通市場2.0」。「ノルウェー・プラス」が土台。
3	ユースティス保守党議員ほか同党議員	穏健離脱	EFTA再加盟、EEA残留により単一市場に参加するが、関税同盟は拒否。バックストップは代替案を追求。	否決	64	377	
4	クラーク保守党議員ほか超党派	穏健離脱	EUとの恒久的関税同盟を実現することを離脱協定・政治宣言に盛り込み、英国議会でも法制化。	否決	265	271	労働党が公式に支持。
5	労働党執行部	穏健離脱	EUとの恒久的関税同盟、単一市場に近い関係、EUの労働者保護規制への連動、環境保護・教育・産業規制等に関するEU機関への参加、治安維持に関する協力、を実現。	否決	237	307	労働党が公式に支持。類似の提案は1月29日と2月27日にも否決されている。
6	チェリー・スコットランド国民党議員ほか超党派	EU残留	離脱までに合意案が可決されない場合、議会はノー・ディールの是非を採決し、これが否決されれば、政府はEU離脱を撤回。	否決	184	293	
7	ベケット労働党議員ほか超党派	EU残留	議会在可決した離脱協定と将来関係の枠組みは、新たな国民投票にかけて支持されなければ発効・批准できないよう規定。	否決	268	295	労働党が公式に支持。
8	フィッシュ保守党議員ほか同党議員	強硬離脱	最長2年間の一時的措置として、現行の無関税・割当なしの貿易、EU規制の適用、EU分担金の拠出（受給額の差額分）などを英EU双方で維持するよう、速やかにEUと交渉。	否決	139	422	「モルトハウス妥協案」と呼ばれる強硬・穏健両派折衷案の「プランB」が土台。
参考	1回目の政府合意案採決（1月15日）			否決	202	432	
	2回目の政府合意案採決（3月12日）			否決	242	391	

(注) 議会は3月28日、動議2の賛成票を188票から、動議3の賛成票を65票から、動議4の賛成票を264票から、反対票は272票から、それぞれ上記のとおり訂正。

(出所) 議会資料、各種報道を基に作成